

(仮称)新宿区産業振興基本条例に関する懇談会 小部会 議事要旨

【日 時】 平成22年6月9日(水) 午後3時 ~ 5時

【場 所】 B I Z新宿 4階 東京商工会議所新宿支部会議室

【出席者】 植田、関、福田各委員

事務局：小沢産業振興課長、荒井産業振興係長、松波主任主事、  
後藤産業創造プランナー

【欠席者】 渡邊委員

【内 容】

1 開会

2 議事

(1) 提言の構成について

(2) 条例素案の構成について

3 懇談会までの作業について

4 今後の日程について

5 閉 会

【配付資料】

- 資料1 キーワード
- 資料2 提言の構成
- 資料3 条例の構成
- 資料4 条例素案
- 資料5 条例関連図

(主な発言内容)

提言の構成について

・なぜ、条例を制定するのか。産業振興の位置づけ、総合計画・基本計画、産業振興プラン、産業振興基本条例、自治基本条例との関連性を図式化する。

条例素案の構成について

(素案の印象)

- ・抽象的でイメージがわからない。
- ・想いが伝わるものにする。
- ・「これだけは使いたい。」というキーワードはないのか。
- ・どこにポイントを置くのか。

(中小企業)

- ・産業振興や地域経済の活性化をめざすとしても、事業者の大部分を占める「中小企業」をどうするのか。「中小企業振興条例ではない」ということが「中小企業ということばを使わない」ということではない。
- ・「中小企業」という言葉を入れたほうが明確になる。
- ・「中小企業」をどう考えるのか。
- ・産業は中小企業だけではなく、大企業、個人、NPOも関わっている。

(前文)

- ・メッセージ性がある部分なので個性を出しやすい。
- ・本文が同じでも前文で違いを出せる。
- ・ストーリー化して、条文の内容を位置づけるものにする。
- ・「多様性」を国際性、新しいもの、古いもの、若い人、高齢者、来街者など具体的に書く。

(基本理念)

- ・「基本的施策」を誘導できるようなつくりを考える。

(基本的施策)

- ・抽象的すぎてイメージがわからない。もう少し具体的に書いてもよい。
- ・「都市計画」「景観」「環境」という言葉をいれる。

(役割について)

- ・いろいろな主体に役割を持たせると、今後連携しやすくなるのではないか。
- ・区の責務に「財政上の措置」を加える。
- ・「大学等の研究機関」「地域金融機関」「特定非営利活動法人」に役割を持たせてはどうか。

(審議会について)

- ・施策は毎年審議し、条例に沿って推進しているかをチェックしていく。